

教師試験検定に向けて学びを進められる方へ（参考書等のご紹介）

※試験内容・解答のポイントに関するお問い合わせには一切応じられません。

※「真宗学」「仏教学」の論述問題および解答のポイントは、試験後に不合格者へ配布しているものです。

※教師試験検定の過去問題は『教師試験検定問題集』（東本願寺出版）に収載しています。

※参考書として挙げたテキストのうち、出版元の記載のないものはすべて東本願寺出版発行です。

なお、東本願寺出版の書籍のご注文は、東本願寺出版HP（<http://books.higashihonganji.or.jp/>）より承ります。

《真宗学》

●学習のポイント

『浄土の真宗—真宗概要—』を熟読するとともに、同書に引用される聖教については『真宗聖典 第二版』所収の本文に丁寧にあたって学習を進め、十分な準備のうえで試験に臨んでください。また、『浄土の真宗—真宗概要—』巻末の索引を利用して重要な言葉の基本的な意味を確認し、それぞれの箇所の記述内容に目を通して理解を深めるよう心がけることが求められます。参考までに前回の試験問題（論述問題のみ）と解答のポイントをご紹介します。

【2025 年春期教師試験検定の論述問題および解答のポイント】

1 真宗聖典 248 頁 6 行目「此の念を作す時」から 9 行目「畏れざれ」と。」までの文章（初版 220 頁 2～5 行目）について、言葉を適宜補足して現代語訳しなさい。

解答のポイント

教師検定を受けるにあたって必要とされるのは、日頃から真宗聖典を通して、三部経・七祖の著作、宗祖の著作の文章に繰り返し触れていくことと、テキスト『浄土の真宗』を通して、その内容や意味を考察していくことである。設問の出典である「二河白道の譬喩（二河譬）」は、譬喩が示されたうえで、その内容について善導大師が述べる一段（合法（がっぼう）段 真宗聖典 248 頁 15 行～）もあるので、譬喩の内容をよく理解しておくことが大切である。平素から真宗聖典を通して学んでいるならば、解答は容易であるはずである。

2 1 の内容をふまえて阿弥陀仏と釈迦の二尊の関わりについて知るところを詳しく述べなさい。

解答のポイント

善導大師は阿弥陀仏が衆生になすはたらきかけを「招喚」という言葉で、釈迦が衆生になすはたらきかけを「発遣」という言葉で確かめている。これをふまえて、宗祖は二尊の関わりについて、『教行信証』『教巻』大意釈（真宗聖典 163 頁）、「行巻」正信念仏偈（真宗聖典 227 頁）、「信巻」別序冒頭（真宗聖典 235 頁）等に言及している。それらの箇所を日頃からよく確認しておく必要がある。その際、『尊号真像銘文』（真宗聖典 649 頁）、『一念多念文意』（真宗聖典 662・664 頁）、『唯信鈔文意』（真宗聖典 682 頁）等の文章を手がかりとして、それぞれの内容を尋ねておく必要がある。

浄土真宗における根本に関わることであり、平素から主体的に教えを学び、基本的な要点を把握しているならば、論述は容易であるはずである。

●参考書：『真宗聖典 第二版』・『浄土の真宗—真宗概要—』

《仏教学》

●学習のポイント

『改訂 大乘の仏道—仏教概要—』を熟読し、内容を理解した上で試験に臨んでください。学習上、特に重要な点は、①釈尊の生涯と教え、②大乘仏教について、③中国仏教の独自性、を正しく学ぶことです。これらの要点は『改訂 大乘の仏道—仏教概要—』の目次の項目に現れていますので、これを念頭においてください。また重要な仏教用語は、それが人間に何を教えようとしているかを考えることも必須です。なお、参考までに前回の試験問題（論述問題のみ）と解答のポイントをご紹介します。

【2025 年春期教師試験検定の論述問題および解答のポイント】

1 唯識思想の「三性説」について、①内容を説明せよ。②それは自分に何を教えようとしているのか。それぞれ思うところを述べよ。（①②と分けて解答すること）

解答のポイント

- ・三性のそれぞれの名称が正しく書けているか否か。
- ・三性の相互関係を正しく理解しているか否か。
- ・三性説と自分自身の関係を考えようとしているか否か。
- ・分かりやすい論述となっているか否か。
- ・論述に誤字、脱字は無い。

3 「自灯明法灯明」について、①内容を説明せよ。②それは自分に何を教えようとしているのか。それぞれ思うところを述べよ。（①②と分けて解答すること）

解答のポイント

- ・釈尊の生涯に位置付けて、内容を正しく理解しているか否か。
- ・この教えと自分自身の関係を考えようとしているか否か。
- ・分かりやすい論述となっているか否か。
- ・論述に誤字、脱字は無い。

●参考書：『改訂 大乘の仏道—仏教概要—』『改訂 大乘の仏道—仏教概要— 資料編』

《教化》

●学習のポイント

- ・「教化」の試験は、真宗大谷派教師として最低限必要な教学及び宗門に関する知識の習得状況を確認するとともに、教師を志す受験者自身が本願念仏の教えに生きる者としてどのような姿勢をもって学んでいるかを確認するための試験です。
- ・小論文（事前レポート）の採点は、前述の視点を踏まえ、具体的には、「課題に正対した内容であること」（問われている意味内容を正確に捉えて書く。問われていないことに関する論説や主張などは採点の対象とならない）、「文意が通っていること」、「誤字・脱字がないか」、「字数制限が守られているか」、「自身の経験を通して自らの言葉で述べられているか」などの項目をもって行います。
- ・試験当日は面接を行います。面接を欠席した場合は「教化」について受験辞退となります。

- 参考書：『教団のあゆみ—真宗大谷派教団史—』
『浄土の真宗—真宗概要—』
『宗祖親鸞聖人』
『真宗大谷派宗憲・宗教法人法』
『信の回復』
『改訂 大乘の仏道—仏教概要—』
『念仏の僧伽を求めて—近代における真宗大谷派の教団と教学の歩み—』（法蔵館）

《声明作法》

- 学習のポイント
 - ・「声明作法」の試験は筆記試験及び実技試験とし、実技試験は声明作法〔浄土三部経（抄）・正信偈 草四句目下・念仏和讃三淘・御文〕並びに装束作法の習得状況を確認します。なお、装束を正しく着けることも試験の評価項目となるので、装束作法についても習得するとともに、『真宗の儀式—声明作法—』を熟読の上で試験に臨んでください。
 - ・筆記・実技それぞれにおいて所定の点数を満たさなければ合格となりませんのでご注意ください。
- 参考書：『真宗の儀式—声明作法—』
『真宗大谷派声明集』、もしくは『大谷声明集（上）』（法蔵館）
『真宗大谷派 御文拝読稽古本』、もしくは『昭和新刻 御文（ひらかな版）』（法蔵館）、
もしくは『大正新刻 御文』（法蔵館）
『浄土三部経（抄）』（法蔵館） ※試験当日は『浄土三部経（抄）』（法蔵館）を持参のこと

《法 規》

- 学習のポイント

以下の3つの項目を中心に学びを進め、「真宗大谷派宗憲」「宗教法人「真宗大谷派」規則」「宗教法人法」「宗教法人「」寺規則（真宗大谷派の寺院・教会の宗教法人規則（準則））」を熟読の上試験に臨んでください。なお、筆記試験時にはこれらの法規を収載した『真宗大谷派宗憲・宗教法人法』（東本願寺出版）を貸与します（個人所有のものは持ち込み不可）。

 - ①各法規に基づく宗教法人（寺院・教会）の運営について
 - ②宗憲改正の意義とその歴史的経緯について
 - ③宗憲及び真宗大谷派規則に基づく宗門運営について
- 参考書：『真宗大谷派宗憲・宗教法人法』・『教団のあゆみ—真宗大谷派教団史—』・
『念仏の僧伽を求めて—近代における真宗大谷派の教団と教学の歩み—』（法蔵館）・
『宗教法人の事務（二訂版）』（文化庁）・
『宗教法人運営のガイドブック』（文化庁 HP にてデータ公開）

以 上